

PF アクティビティレポートのユーザーレポートについて

PF Activity Report: Users' Report

筑波 太郎^{1,*}、桜 咲²¹ 放射光科学研究施設、〒 305-0801 つくば市大穂 1-1² ERL 推進室、〒 305-0801 つくば市大穂 1-1

1 はじめに

物質構造科学研究所・放射光科学研究施設 (Photon Factory) では、施設の活動報告集としてこれまで毎年 Photon Factory Activity Report を発行しております。Photon Factory Activity Report は、放射光科学研究施設の概要、年間の運転状況、新設ビームラインの紹介、光源加速器の R&D で得られた成果等についての報告書であるとともに、PF でユーザーが当該年度に実施した実験課題で得た新しい結果の報告の場でもあり、広く国内外に配布して PF の活動を伝えて参りました。

2011 年度 (2011 年 4 月-2012 年 3 月) の成果をまとめる Photon Factory Activity Report 2011 は、本年末の発行を予定して編集作業を開始いたしました。つきましては、皆様は過去 1 年程度の間 PF で行われた研究を Users' Reports として収集したいと考えておりますので、皆様の研究成果をレポートとして是非お送り下さるようお願い申し上げます。皆様の寄稿が PF の研究活動を計る重要な物差しであり、また PF を支援していただき、ひいては皆様の研究環境の改良にも繋がるものであると考えております。2011 年度に PF で実験を行った全てのユーザーの方にレポートを寄稿していただくのが基本ですが、データの解析あるいは解釈の問題がありますので、必ずしも 2011 年度に限定せず、それ以前の実験結果の報告でも結構です。

Photon Factory Activity Report は Part-A の Highlights and Facility Report と Part-B のユーザーの皆様からの研究成果報告に分れており、Part-B は Web 上での出版となっています。過去の Photon Factory Activity Report は PF の Web ページ、<http://pfwww.kek.jp/pfacr/index.html> からご覧になれます。

また、今年度より日本語でのユーザーレポートも受け付けます。皆様 お忙しいところかと思いますが、是非積極的にユーザーレポートを執筆頂ください。ユーザーレポートの原稿や電子ファイルの準備・投稿要領は Photon Factory Activity Report 2011 のホームページ <http://pfwww.kek.jp/acr2011/ursubj.html> に掲載しておりますのでご覧下さい。

原稿を提出して戴くサイトにアクセスするとき、userID とパスワードが必要となります。それぞれ "acr2011"、"pf" と打ち込んでください。(表 1)

多くのユーザーの皆様からのレポートをお待ちしています。

表 1: ユーザー名とパスワード

UID	:	acr2011
PW	:	pf

原稿提出の締め切り:

2012 年 6 月 25 日 (月) (JST)

また、Photon Factory Activity Report には毎年出版物リストをつけています。これは PF で行われた研究を基に執筆された論文リストで、これまた PF の活動のバロメータでもあります。まだ登録されていない論文をお持ちの場合は、

http://pfwww.kek.jp/users_info/users_guide/pubdb.html から登録をして下さい。以前に出版されたものでも結構ですので、ぜひ登録をお願いします。

2 実験

PF アクティビティレポートは、今回で 29 号です。Part A は、Highlights and Facility Report で Part B は、Users' Report の二部構成となっています [1]。またこの数年は、Part B は、印刷物無しのデジタル配信になっております。PF としては、Part B の一層の充実を図るため、今回から Part B は日本語で取りまとめることとなりました。一方、Part A は英語のままです。

3 結果および考察

これまでの Word でのレポート作成では、図の処理がいつもやりにくい面もあり、 \LaTeX の利用を再び検討しました [2]。図 1 のように、図を入れるが文章を改訂中に期待しない場所に図がずれます。結果、今回より、 \LaTeX 、Word 両方のスタイルファイルを用意し、ユーザーレポートは、PDF での提出とすることとしました。またページ数は、これまで通りの 1 ページだけでなく、2 ページのユーザーレポートも今回から受け付けますので、検討下さい。



図 1: これは、PF のロゴです。

4 まとめ

ユーザーの方々は、PF アクティビティレポートを、積極的に出して頂ければ幸いです。

謝辞

このスタイルファイルは、過去に PF スタッフの方々がいろいろ作業して頂いた結果、出来たものです。ここに感謝致します [3]。

参考文献

- [1] T. Tsukuba *et al.*, Nature **800** (2020) 12.
- [2] \LaTeX でのレポート提出は、2001 年頃にも採用されており今回の日本語でのレポート提出に伴う体裁の調整程度で対応した。
- [3] I. Oho and S. Sakura, Phys. Rev. Lett. **120** (2018) 10101.

* pf-acr2011@kek.jp